

大村湾における沿岸道路のシークエンス景観の特徴に関する基礎的研究

長崎大学工学部 学生会員○叶谷 凌大

長崎大学大学院工学研究科 正会員 石橋 知也

1. はじめに

1.1 研究の背景と目的

2017 年の自転車活用推進法の施行を受け、2018 年には自転車活用推進計画が閣議決定された。そこでは、4 つの「自転車の活用の推進に関する目標」が掲げられており、「サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現」がその一つの柱に位置付けられている¹⁾。サイクルツーリズムの代表事例として、本州と四国を結ぶしまなみ海道や琵琶湖一周サイクリングが地域振興の手段として注目されつつある。具体的にサイクルツーリズムを推進していくためには、その対象の地理や特性を理解すること、地域の魅力を掘り起こし理解すること、点と点を「線」でつなぎ魅力をデザインすることが重要であるとされる²⁾。

このような中、長崎県大村湾でも 2017 年から大村湾 ZEKKEI ライドが開催されるようになった。大村湾を望む眺望点のマップ³⁾が作成されるなど、年々認知度が高まっているイベントになりつつある。

上記背景を踏まえ本研究では、長崎県大村湾を対象に、サイクルツーリズムの要点でもある「点と点を「線」でつなぎ魅力をデザインする」ことに資する基礎資料を得るため、沿岸道路のシークエンス景観の特徴を把握することを目的とする。

1.2 研究の進め方

まず予備調査によって、ロードバイク（以下、自転車）に乗った状態で、沿岸道路のシークエンス景観を動画として入手するための方法を検討した。次に予備調査によって決定した動画撮影方法を用いて本調査を実施した。今回は先述の大村湾 ZEKKEI ライドのロングコース（約 128km）を対象としている（図 1）⁴⁾。このコースは、大村湾の沿岸道路一周の約 8 割に相当する。さらに、本調査によって入手した動画を用いて、沿岸道路のシークエンス景観のタイプ分類をおこなった。これらの作業を通じて大村湾における沿岸道路のシークエンス景観の特徴を把握した。



図 1 調査対象としたロングコース

2. 予備調査（動画撮影方法の検討）

2.1 調査条件

予備調査は、琴海中央公園と日並バイパス間の距離約 10km において、2019 年 11 月 26 日（曇り）の午前 8 時から 9 時にかけて動画撮影をおこなった。

図 2 に示すように大村湾を反時計回りに進行することを前提に、進行方向の法線方向（水面側）にレンズを向けた状態で自転車のハンドル部にカメラ（機

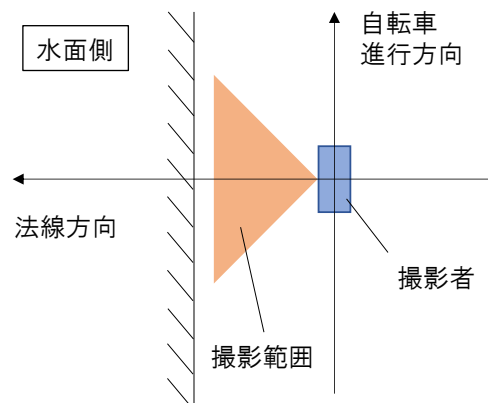


図 2 動画撮影方法

種：GoProHERO8)を固定した(写真1)。

2.2 予備調査の結果と動画撮影方法の決定

前節の条件にて撮影した動画(静止画)を写真2に示す。この方法では動画に運転者の腕とハンドルの一部が映り込んでおり、画像分析の際に支障があると判断した。また、ハンドルの位置にカメラを設置しているため運転者の目線より低い位置からの撮影となった結果、運転者の目線であれば見通せた景観であっても動画ではガードレールや堤防が多く映り込んでいる場合が把握された。

上記課題を解決するために、本調査ではカメラの設置位置をハンドル部からヘルメット上部へと変更することとした(写真3)。

3. 本調査

本調査は、前述のロングコースを対象に、琴海中央公園地点からオランダ村地点にかけて、12月10日から12月26日の間、複数日に分けて動画の撮影をおこなった。改善した結果得られた動画(静止画)を



写真1 カメラの
固定状況（予備調査）



写真3 カメラの
固定状況（本調査）



写真2 予備調査時の動画（静止画）



写真4 本調査時の動画（静止画）

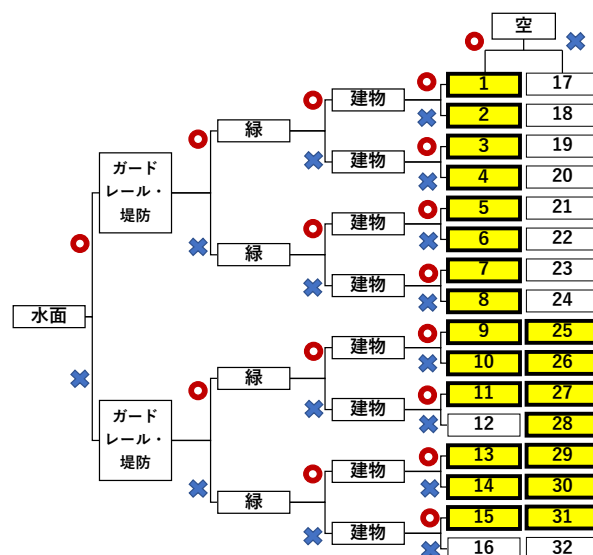


図3 シークエンス景観のタイプ分類

写真4に例示する。自転車運転時にやや前傾姿勢になるため画像はやや傾いているが、実際に運転者が見ている景観に近いと判断しこの画像を分析に使用することとした。

4. 沿岸道路のシークエンス景観のタイプ分類

ここでは、本調査によって入手した動画を用いて、沿岸道路のシークエンス景観のタイプ分類をおこなう。調査時および動画によって確認された構成要素を、「空」、「水面」、「ガードレール・堤防」、「緑」、「建物」の5つに設定したうえで、各要素の有（○）無（×）による組み合わせを整理した結果、全32通りのタイプを抽出した。これに加えて、例えば「空×、水面○、ガードレール・堤防○、緑○、建物○」のように現実には存在しない組み合わせを排除する作業をおこなった結果、21通りにまで絞り込むことができた。これを模式的に示したものが図3である。

今後は、この21通りのタイプ分類を図3上に描画し、大村湾の沿岸道路のシークエンス景観を把握し、その作業を通じてその特徴を考察する予定である。

参考文献

- 1) 藤本芳一, 輪の国びわ湖推進協議会: サイクルツーリズムの進め方 自転車をつくる豊かな地域, 学芸出版社, p.10, 2019
- 2) 前掲1), pp.38-40
- 3) 環大村湾広域景観調査: 眺望点 MAP
- 4) <https://zekkeiride.com/2019/#course>, 2020年1月8日確認